

ことし ちゅうしゅう めいげつ がつ にち よる とうきょう てんき へんか はげ よる おお くも で
今年の中秋の名月は9月21日の夜でした。東京では天気の変化が激しい夜で大きな雲がどんどん出
てきたり、ところどころ晴れていたり、せつかくの名月が見えていたり隠れていたりでした。

めいげつ たの しゅうかん ふる へいあんじだい ちゅうごく つた いま
名月を楽しむ習慣はとても古く、平安時代にまでさかのぼって中国から伝わってきました。今ではその
じき おつきみ だんご つく そな あと た まんげつ かたち おまんじゅう あじ かた
時期にお月見の団ごを作ってお供えした後に食べたり、うさぎや満月の形したおまんじゅうを味わった方も
いらっしやったのではないのでしょうか？

ことし ちゅうしゅう めいげつ す がつ にち よる べつ つきみ たの
さて今年の中秋の名月は、もう過ぎてしまいましたが、11月19日の夜にはまた別なお月見の楽しみがあ
ります。とうじつ ゆうがた たいよう にし そら しずんで あと ごごじ ふんす つき ぶぶんてき か
当日の夕方、太陽が西の空に沈んでしまった後の午後4時40分過ぎに月が部分的に欠けている
じょうたい ひがし ほうこう のぼ か いちばんか み ごごじ
状態で、東の方向から登ってきます。それから、どんどんと欠けていって一番欠けて見えるのは午後6時20
ふんすぎ す こんど ぎやく あか ぶぶん ふえて ごごじ ふんころ
分過ぎになります。それを過ぎると、今度は逆にどんどんと明るい部分が増えていって、午後7時50分頃
ぜんぶ あか み まんげつ もど
は全部が明るく見える満月に戻ります。

こんかい げっしょく かいきげっしょく ちか ぱーせんと くら めづら ぶぶんげっしょく とうじつ
今回の月食は、ほぼ皆既月食に近い98パーセントまで暗くなるとも珍しい部分月食です。もし当日
よる ひ よぞら み あ きかい つき あか み
の夜があまり冷えこまずに、夜空を見上げる機会があれば月の明るく見え
かたち すこ か ようす み たの
る形が少しずつ変わっていく様子を見て楽しまれてはいかがでしょうか？

